

教科・科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
地理歴史 日本史B	5	3年 普通科	選択G	詳説 日本史 (山川出版社)	新詳 日本史 (浜島書店) 要点整理 ゼミナール日本史 (浜島書店)

学習目標	「我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察し、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。」という学習指導要領の目標をもとに、近世以降の日本史を重点的に学習する力を養う。
主な学習内容	上記の目標に沿って、2年次で学んだ土台の上に、近世以降の歴史をより詳細に学習する。 ○「第Ⅲ部近世」では、近世国家と社会や文化の特色について、複数の歴史的な解釈があることを踏まえて、国際環境と関連付けて考察する。 ○「第Ⅳ部近代・現代」では明治時代から現代までを扱い、近代国家の形成と社会や文化の特色について、また現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて考察し、世界の中での日本の立場について認識を深める。
評価の 観点・規準	「知識・理解」…教科書や資料の内容を的確に理解しているか、歴史的背景や文化を明確に読み取ることができる。 「思考・判断・表現」…教科書や資料を参考にして、自分の考えや意見をまとめることができる。 「資料活用」の技能…教科書や資料集等から情報を正確に読み取ることができる。 「関心・意欲・態度」…積極的に授業に参加している。科目に対して、自学学習などを行っている。また、グループ学習等に進んで取り組んでいる。
評価の方法	「知識・理解」…定期考査や小テスト等で適確に理解しているかを評価する。 「思考・判断・表現」…グループ学習やディベートを通して自分の考え・意見を的確に表現することができるかを評価する。 「資料活用」の技能…レポートの提出等を通して情報を正確に読み取ることができるかを評価する。 「関心・意欲・態度」…定期考査・小テスト・授業の質問、グループ学習への取り組み態度等を総合的にみて評価する。

学期	内容
1 学期	第Ⅲ部近世「第6章幕藩体制の確立－1織豊政権～4幕藩社会の構造」、「第7章幕藩体制の展開－1幕政の安定」を中間考査までに学習する。 ----- 第Ⅲ部近世「第7章幕藩体制の展開－2経済の発展～3元禄文化」、「第8章幕藩体制の動揺－1幕政の改革～4化政文化」を期末考査までに学習する。
2 学期	第Ⅳ部近代・現代「第9章近代国家の成立－1開国と幕末の動乱～6近代文化の発達」を中間考査までに学習する。 ----- 第Ⅳ部近代・現代「第10章二つの世界大戦とアジア－1第一次世界大戦と日本～6第二次世界大戦」、「第11章占領下の日本－1占領と改革～2冷戦の開始と講和」を期末考査までに学習する。
3 学期	第Ⅳ部近代現代の「第12章高度成長の時代－155年体制～2経済復興から高度成長へ」、「第13章激動する世界と日本－1経済大国への道～2冷戦の終結と日本社会の動揺」を学年末考査までに学習する。

備考 ・講座の特色 ・履修条件 ・注意事項 等	・注意事項として、2年次で使用した教科書『詳説日本史B』と副教材『新詳日本史』・『要点整理 ゼミナール日本史』を継続使用します。 ・2年次の日本史全般の理解の上に立って学習するので、2年次に日本史Bを履修していることが望ましい。その上でより詳細な知識・理解を獲得し、基本的な史・資料の解釈や活用ができることめざします。さらには各人が歴史に対して興味・関心を持ち、国際社会を生きるうえで必要な自国の歴史に対する正確な認識を身につけられるよう取り組んで下さい。
-------------------------------------	---